

教育プログラム・コースの概要

| | | | | | | | |
|--|--|------|------|------|------|-------|----|
| 大学名等 | 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 臨床腫瘍学講座 | | | | | | |
| 教育プログラム・コース名 | 遺伝性腫瘍のカウンセリングとサーベイランス技術者養成コース (インテンシブコース) | | | | | | |
| 対象職種・分野 | 医師、看護師、薬剤師 | | | | | | |
| 修業年限(期間) | 6ヶ月 | | | | | | |
| 養成すべき人材像 | クライアントの不安・心配に柔軟に対応できるような、技術者を養成する。正確な情報を提供し、疑問に適切に答え、クライアントの遺伝性疾患等に関する理解を深め、今後の生活に向けて自らの意思で選択し、行動できるように支援し、援助できることを目標にする。 | | | | | | |
| 修了要件・履修方法 | 本教育プログラム・コースで定める科目(90分/回)について、所定の回数を履修する。 | | | | | | |
| 履修科目等 | <必修科目> 遺伝性腫瘍学(基礎)講義 遺伝カウンセリング学(1)講義 遺伝カウンセリング学(2)講義 遺伝性腫瘍サーベイランス学講義 <選択科目> がん遺伝子パネル検査のエキスパートパネル実習 | | | | | | |
| がんに関する専門資格との連携 | 臨床遺伝専門医(日本人類遺伝学会)の研修施設として認定。 | | | | | | |
| 教育内容の特色等(新規性・独創性等) | 令和元年から当院は「がんゲノム医療拠点病院」に指定されており、約160件/年のがん遺伝子パネル検査が施行され、約50回/年のエキスパートパネル開催、約20件/年の遺伝カウンセリング、約5件/年のサーベイランスが施行されている。 | | | | | | |
| 指導体制 | 「がんゲノム医療拠点病院」であることを活用し、エキスパートパネルへの参加を通じて、本教育プログラム・インテンシブコースで活用する。 | | | | | | |
| 修了者の進路・キャリアパス | 遺伝性腫瘍は、コモンディージーズ、すなわち日常的に高頻度で遭遇する疾患、有病率の高い疾患であり、カウンセリングとサーベイランス技術者は、今後ますます重要になってくることが予想される。 | | | | | | |
| 受入開始時期 | 令和5年10月 | | | | | | |
| 受入目標人数 <small>※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。</small> | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | 計 |
| | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 24 |
| 受入目標人数設定の考え方・根拠 | 県内の都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院(高度型)、地域がん診療連携拠点病院、特定領域がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、12病院に遺伝性腫瘍のカウンセリングとサーベイランス技術者を最低1人ずつ配置することを目標にする。受入れ目標人数を4人と設定。 | | | | | | |